

カナダ及び国内における B S E の発生について

(資料 1) カナダにおける B S E 感染牛に関する情報

(資料 2) 牛海綿状脳症 (B S E) 確定診断の結果について

農 林 水 産 省

カナダにおける B S E 感染牛に関する情報

平成 1 8 年 1 月

1 B S E 感染牛

- ① 6 歳の雌牛 (2000 年 4 月 15 日生まれ、交雑種)
- ② カナダ・アルバータ州で生産・飼育
- ③ 中枢神経症状を示したことから、B S E サーベイランスの対象となった。
- ④ B S E 感染牛は、食用あるいは飼料用には供されていない。

2 飼料についての追跡調査

- ① 現在調査中。
- ② 代用乳は使用していない。

3 産子についての追跡調査

- ① B S E 感染牛はこれまで 4 頭出産。
- ② 1 から 3 頭目については現在調査中。
- ③ 4 頭目 (2005 年 6 月 27 日生まれ) は当該農場で飼養中。

4 同居牛についての調査

- ① 当該農場では 409 頭の牛を飼養

※ 米国農務省は、1 月 23 日 (現地時間)、本事例によりカナダ産牛肉・生体牛の輸入に影響はない見込みであることを発表。

(参考) 経緯

- ① 1 月 15 日、民間獣医師が神経症状を示した牛を確認しサンプル採取。
- ② 1 月 16 日、B S E サーベイランス検査用に回される。
- ③ 1 月 17 日～18 日、スクリーニング検査 (バイオラド) を実施し、陽性を確認。
- ④ 1 月 19 日、カナダ公衆・動物衛生科学センターで確認検査 (I H C 及びウエスタンブロット) を実施。
- ⑤ 1 月 22 日、確認検査で陽性を確認。
- ⑥ 1 月 24 日午前 1 時 (現地時間 23 日午前 10 時)、カナダ政府は 4 例目の B S E 感染牛の確認について公表 (事前に日本側に事実を通知)

プレスリリース

平成18年1月23日
農 林 水 産 省

牛海綿状脳症（BSE）確定診断の結果について

平成18年1月21日に、北海道で実施したBSEの農場サーベイランスのエライザ検査で陽性となった下記の乳牛1頭について、(独)農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所において確定検査を実施したところ、ウエスタンブロット法で陽性となりました。

この結果について、食料・農業・農村政策審議会消費・安全分科会家畜衛生部会プリオン病小委員会の委員により協議を行った結果、BSEであるとの結論を得ましたのでお知らせします。

なお、この牛は、平成13年10月の肉骨粉等の飼料原料の法的な給与規制が開始された以前に生まれた牛です。

記

品 種 : ホルスタイン種

性 別 : 雌

生年月日: 平成12年9月1日

月 齢 : 64か月齢

飼養地 : 北海道野付郡別海町

エライザ検査実施日 : 平成18年1月21日

エライザ検査実施機関 : 北海道根室家畜保健衛生所

確定検査実施機関 : (独) 農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所

参考資料

22例目BSE患者の検査結果(別紙)

【報道機関へのお願い】

当該牛に係る地域に対する取材には、十分な配慮をお願いします。

- ・ この牛の肉、内臓等、当該牛に由来するものは、焼却処分されるため、食用として出回ることはなく、飼料に利用されることもありません。

連絡先 農林水産省消費・安全局

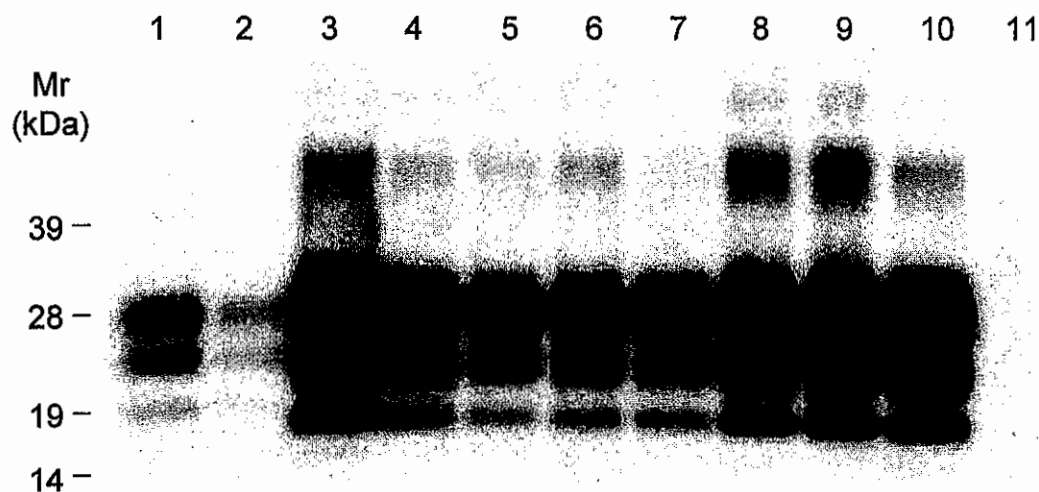
電 話 : 03-3502-8111 (代表)

担当者 : 動 物 衛 生 課

川島(内線3201)、鈴木(内線3223)

03-3502-8292 (直通)

22例目BSE患畜のWB結果



- 1, 2列: スクレイピーマウス陽性対照
 3, 4列: BSE牛陽性対照
 5, 6, 8, 9列: 被検体(エライザ用乳剤)
 7, 10列: 被検体
 11列: 正常牛陰性検体

検査機関: (独)動物衛生研究所

1. Mouse control (1.6 μ g/lane)
2. Mouse control (0.4 μ g/lane)
3. BSE UK (5 mg/lane)
4. BSE UK (1 mg/lane)
5. Nemuro-1 (ELISA 1st) (0.2 mg/lane)
6. Nemuro-1 (ELISA 2nd) (0.2 mg/lane)
7. Nemuro-1 (0.2 mg/lane)
8. Nemuro-1 (ELISA 1st) (1 mg/lane)
9. Nemuro-1 (ELISA 2nd) (1 mg/lane)
10. Nemuro-1 (1 mg/lane)
11. Normal cattle (5 mg/lane)

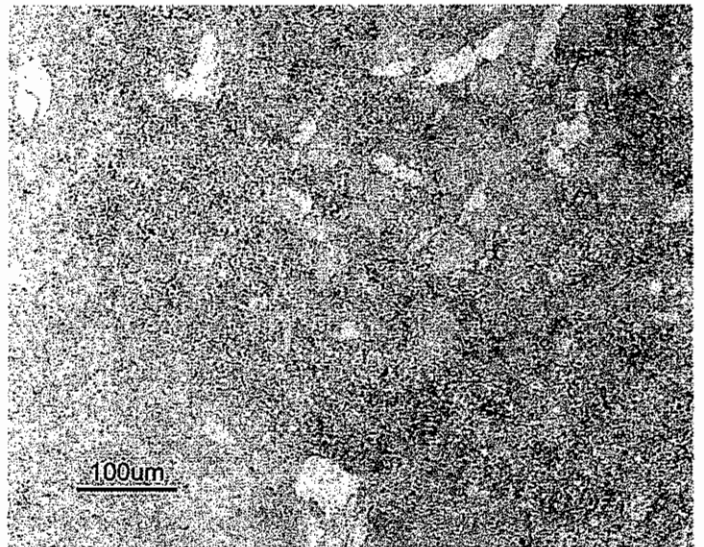
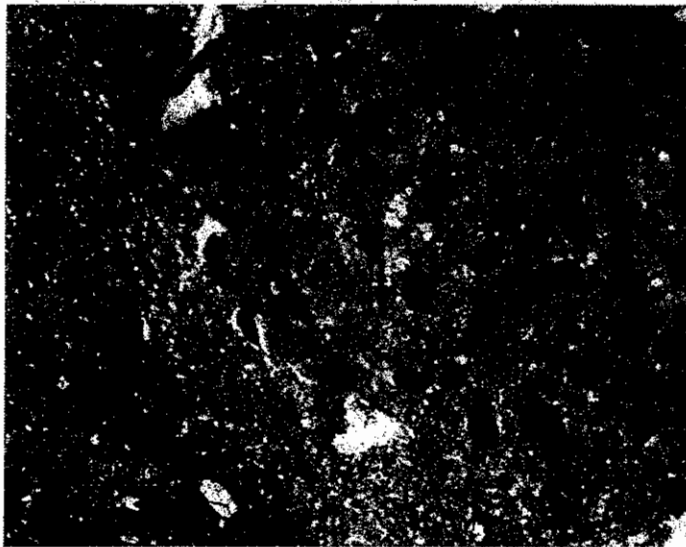
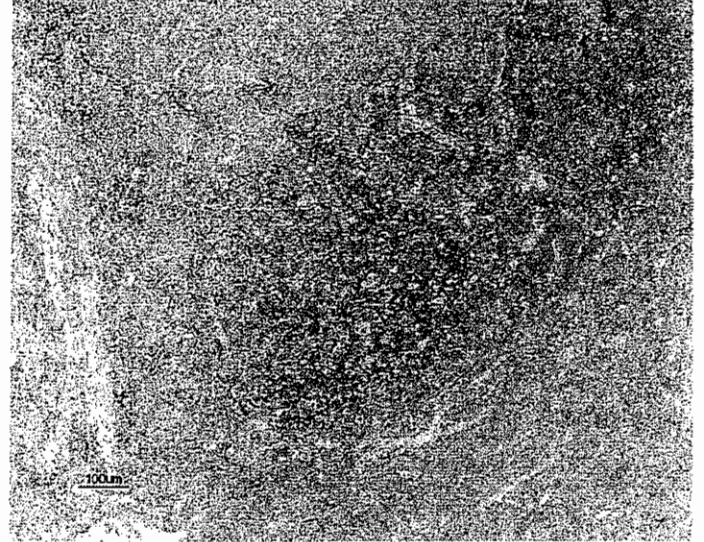
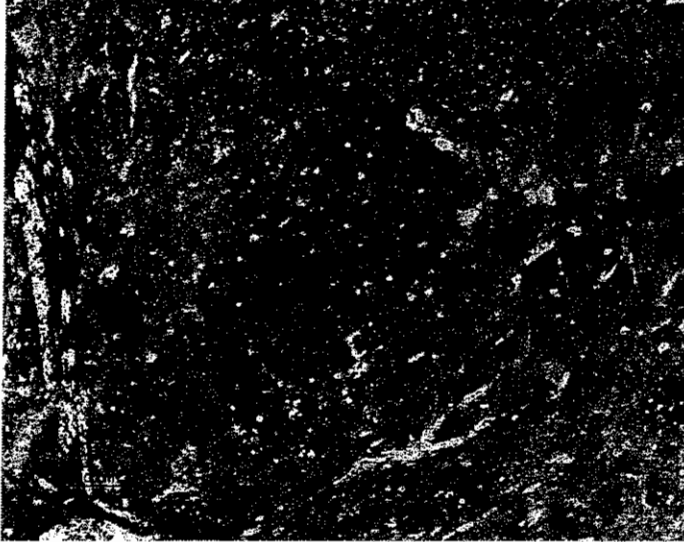
抗体: T2(1:5000)

(参考)ELISA検査結果

ELISA値: 1回目 >3.0 (cut off 値 0.168)
 2回目 >3.0 / >3.0 (cut off 値 0.166)

使用キット: フレライザBSE(富士レビオ)
 検査機関: 北海道根室家畜保健衛生所

22例目BSE患畜の組織学的検査結果



病理組織学的検査の結果 (HE染色)

左上: 孤束核。非常に弱い空胞変性が認められるが、死後変化との明確な区別は困難である。

左下: 迷走神経背側核。神経細胞に空胞変性は認められない。

免疫組織学的検査の結果 (抗体: 44B1)

右上: 孤束核。神経網に褐色に染まる陽性反応(異常プリオン蛋白質の蓄積)が検出される。

右下: 迷走神経背側核。神経網に褐色に染まる陽性反応(異常プリオン蛋白質の蓄積)が検出される。